

阿智村事務事業評価シート

事務事業名	社会環境アセスメント	担当者	地域経営課 リニア対策係
-------	------------	-----	--------------

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	
関連する主な計画等	
根拠法	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他
事業の対象者	全村民
事業開始年	H27 <input type="checkbox"/> 時期不明
事業の終期	H27 <input type="checkbox"/> 終期末定

②事務事業の計画(PPLAN)、取組(DO)

実施目的	東京・名古屋間の2027年開通を目指し行われるリニア中央新幹線整備工事において、阿智村で1日最大920台の発生土運搬車輛の通行が住民生活や観光事業への影響を予測するため
具体的取組	交通量調査(2回)、渋滞シミュレーション作成、住民アンケート、住民・沿線事業者ヒアリング、屋神温泉経営者ヒアリング、観光地来訪者ヒアリング、アンケート等
実績・効果	委員報酬等699千円、消耗品264千円、愛知大学委託2,504千円、中部タイムエージェント委託5,314千円 調査を実施、報告することにより、住民へのリニア工事への関心を高める

事業コスト	区分	単位	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	実績額		千円			8,781	
	うち一般財源	千円			8,781		
	うち補助金	千円					
	うち個人負担	千円					
従事職員	正規職員	人			0.6		
	臨時職員	人					

③評価(CHECK)

区分	個別判定	判定理由	総合判定	
必要性	住民のニーズは高いか	a	特に清内路、智里地区の興味は高い	A
	手段、成果は妥当か	a	正解の判断基準は難しいが手段は妥当	
	対象者の設定は妥当か	a	全村民に何らかの影響が出るため妥当	
	村の関与は妥当か	a	村以外では行う機関がないため	
有効性	期待された効果が得られたか		社会環境アセスは前例がない中で、試行錯誤を重ね進めた。また、調査期間も短い中で一定の調査結果が得られた。	B
効率性	コストの削減に努めたか	b	調査は移動手段等職員がサポートした	B
	効率性を高める工夫はされたか	b	調査実績を精査する中で高めた	
公平性	受益者負担は適切か	負担なし		B
総合評価	B			

④改善(ACTION)

事業の方向性	終了
課題	事業はすでに終了したが、今後社会環境アセスの調査結果をどう生かしていくか
今後の取り組み	社会環境アセスメント委員会からの提言は対策委員会でも尊重されている JR東海、長野県、住民等関係者との協議に生かしていく